

私たちが支えます。

地域福祉を支えるプロフェッショナル

河内長野市では、子育てや障がい、高齢、介護など分野ごとの専門家が支援を行っています。困ったことや不安なこと、わからないことがあったら、私たちにご相談ください。

子育てのことなら

子育てをしている中で、誰かに聞いてみたいと思ったこと、ちょっと困ったことなどを気軽に相談できます。子育て・子育てを応援するスタッフがお待ちしています。
子ども・子育て総合センター あいっく
TEL : 0721-50-4664

障がいのことなら

障がい者やその家族からの生活相談（日常生活や就労、日中活動の場などの相談）などのさまざまな相談に応じています。また、ピアカウンセリングも行っていきます。
ピアセンターかわちながの
TEL : 0721-70-7002
FAX : 0721-70-7003

高齢者のことなら

保健師・社会福祉士、主任ケアマネジャーなどが協力して、総合的な支援に取り組んでいます。介護サービスや認知症などについての相談は、ご本人のほか、ご家族や地域の方でも大丈夫です。
東部地域包括支援センター
TEL : 0721-52-0180
中部地域包括支援センター
TEL : 0721-55-3451
西部地域包括支援センター
TEL : 0721-56-6600



生活に関わる経済的な悩みのことなら

仕事や生活などの経済的な悩みについては、生活福祉課にご相談ください。就職に向けた支援や家計の立て直しなどの様々な支援を行いながら、解決に向けて一緒になって取り組みます。
市役所 生活福祉課 TEL : 0721-53-1111 (代表)

どこに相談していいかわからないときは

さまざまな悩み事や困りごとについて、地域の方々や支援機関と連携し、住み慣れた地域で安心した生活ができるように、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)と一緒に取り組みます。
社会福祉協議会 TEL : 0721-65-0133

発行

河内長野市高齢福祉課

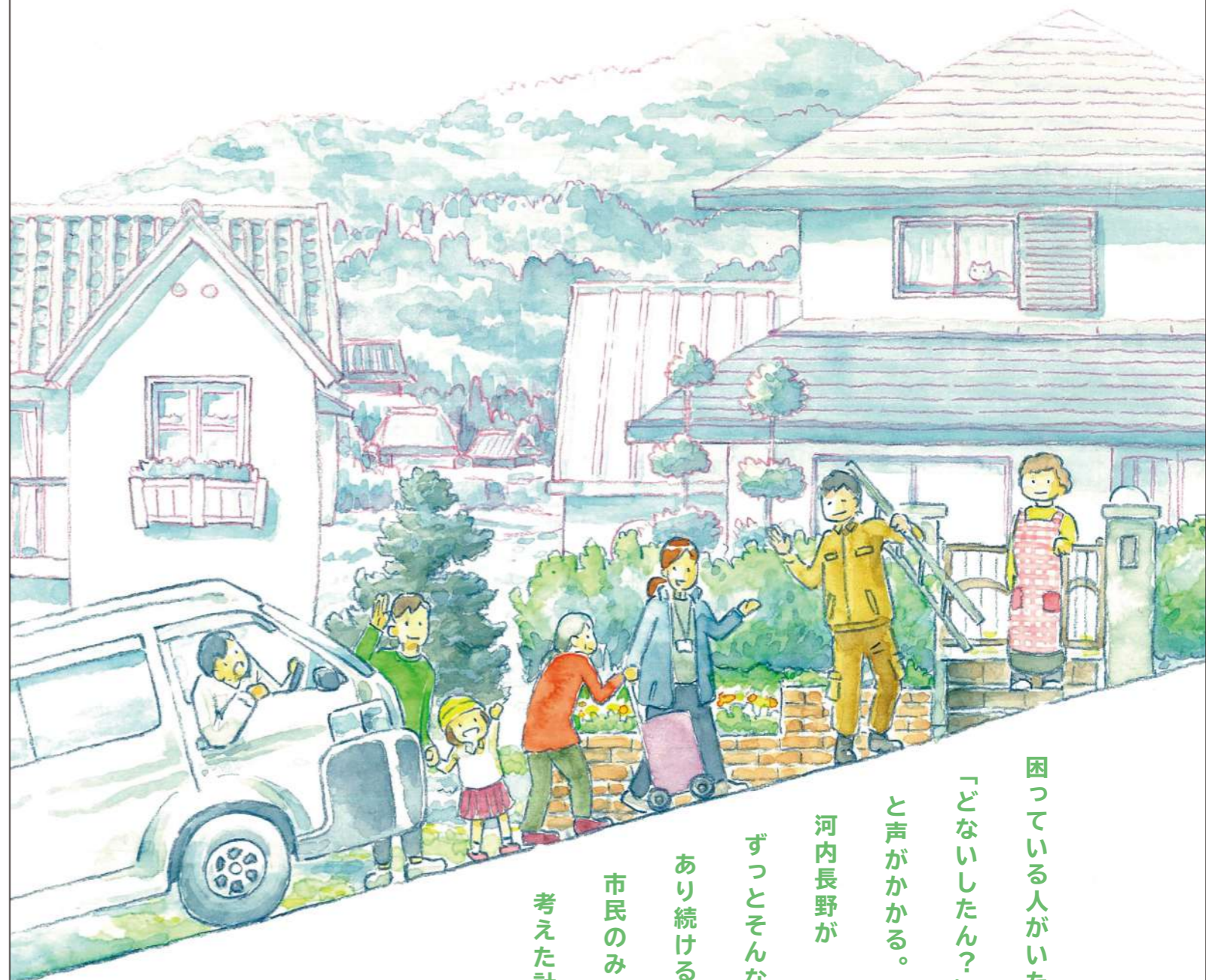
河内長野市原町1丁目1番1号
TEL : 0721-53-1111 (代表)

河内長野市社会福祉協議会

河内長野市喜多町 663
TEL : 0721-65-0133 (代表)

ほっとかへん。

かわちながの つながり・支えあい推進プラン



困っている人がいたら

「どないしたん？」

と声がかかる。

河内長野が

ずっとそんなまちで

あり続けるように

市民のみなさんと

考えた計画です。

河内長野市

河内長野市社会福祉協議会

フクシはあなたのそばにある

「福祉」とは、困っている人だけが受けるサービスではありません。困っている人を助ける人も見守る人も、みんなが安心して暮らせるようにする、あなたの毎日に寄り添うものなんです。

車がないと移動が大変!

空き家が増えてきたな。うまく活用できないかな。

みんなで体操をする場所が欲しいなあ。

地域食堂をやりたいなあ。

子どもから大人まで集まれる機会が少なくて。

たくさんの団体が活動しているよ。

買物が不便です!

移動支援の取り組みがはじまった!

ほかの地域と情報交換したいな。

昔ながらの助け合いがあるよ。

若い人も一緒に活動ができればいいな。

子育てサロンをやっているよ。

祭りには子どもからお年寄りまで集まるよ!

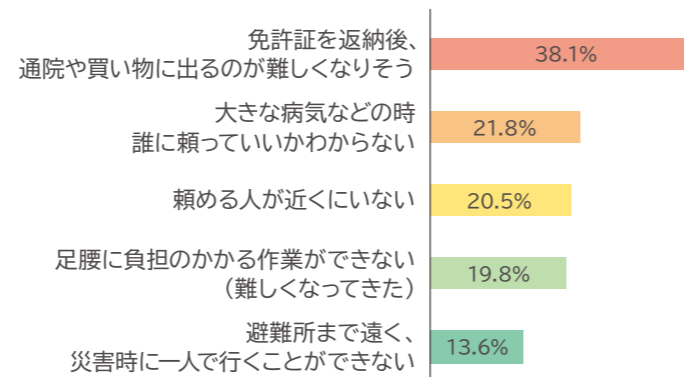
地域カフェができる場所はないかなあ。

どこに相談したらいいのかわからなくて。

河内長野市地域福祉計画の策定に先立ち、市民を対象に「地域共生社会の実現に向けたアンケート」、福祉委員を対象に「福祉委員意識調査」をそれぞれ平成31年に実施しました。集計結果からは、ちょっとした困りごとを地域で助けあう仕組みや困ったときに気軽に相談できる場所・機会の必要性、人と人がつながることの重要性が見えてきました。

免許を返すと困る人 4割

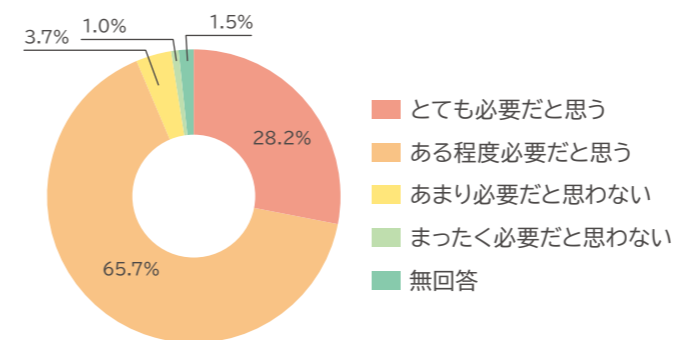
—日常生活で不安を感じていること—



日常生活での不安を尋ねたところ、約4割の人が「免許証を返納後の通院や買い物」と答えました。坂が多い河内長野市では特に多いのかもしれない。

「助け合いが必要」9割

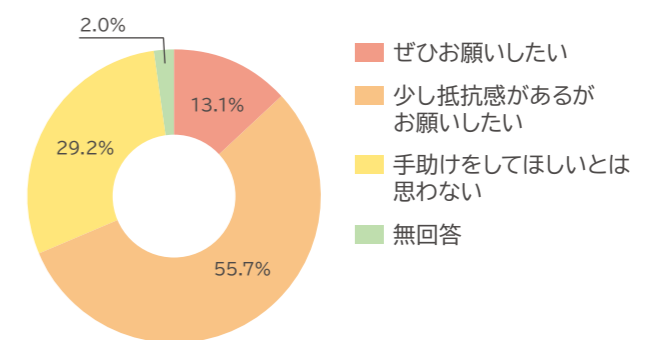
—地域での助け合いの必要性—



地域での助け合いについて尋ねたところ、9割以上の方が「助け合いが必要」と答えています。介護保険や医療のサービスでは行き届かない、日常のちょっとした困りごとを地域で助け合えるといいですね。

「手助けを求める」7割

—日常生活での介助や手助け—



日常生活で困ったときに介助や手助けを求めるか尋ねたところ、約7割の人が「手助けをお願いしたい」と答えています。「助け合いが必要」と答えた人の割合より少ないのが気になりますね。助けられ上手になることも必要です。

「支えあい」の実践が始まっています。

私たちのまちでは、すでにたくさんの「支えあい」の活動が展開されています。ここではその中のほんの一部を紹介します。

相手の気持ちになってみる

福祉学習

市内の小学校で実施している福祉学習プログラム(車いす介助編)では、車いすの使い方だけでなく、人に対しての声のかけ方や接し方についても学びます。大切なのは、他者の立場や心情を思いやり、互いに支えあう気持ちなんですね。



施策の方向Ⅰ 地域福祉の担い手づくり

地域で暮らす一人ひとりが自分にできることを考え、行動していくことが大切です。相手の気持ちになってみる、そんな小さな一歩から始めてみましょう。

基本施策

- ① 福祉と人権尊重に関する意識醸成
- ② 地域福祉活動の担い手育成と資質の向上

その価値はコーヒー1杯のお値段以上

まちかどカフェ

Café 花♥花では、月に1回まちかどカフェ(認知症カフェ)を開催しています。カフェとボランティアの協力による、楽しい交流のひとつときには、福祉委員、民生委員・児童委員、地域包括支援センターなども参加し、お困りごとがないか見守っています。



施策の方向Ⅲ 地域を支える基盤づくり

高齢になっても、障がいがあっても、毎日を自分らしく過ごすためには、必要な人に必要な支援が行き届くことが大切です。市の関係部署や支援専門機関だけでなく、地域活動団体とも協力し、どんな相談でも受け止められる体制づくりを進めます。

基本施策

- ① 包括的支援体制の整備
- ② 権利擁護の推進

免許を返しても安心

移動支援(なんすいひまわり号)



住宅地全体に坂が多い楠翠台地区では、「なんすいひまわり号」が平日毎日運行し住民の移動を支援。社会福祉法人と地域の人々が手をとり合って始めたこの事業は、住民の生活を支える大切な取り組みになっています。

施策の方向Ⅱ 支えあいの地域づくり

誰もが安心して自分らしく暮らすためには、地域の中で見守り、支えあう関係を築くことが大切です。「お互いさま」や「ありがとう」が響き合い、すべての人が地域の中に居場所や役割があるまちをめざしましょう。

基本施策

- ① 多様な主体による地域福祉活動の推進
- ② 多様な地域交流の促進
- ③ 地域における支えあい体制の構築

自分も誰かに貢献したい

生活困りごとサポート(こ・こ・わ)

生活のちょっとした困りごとを地域で解決したい、「助けてほしい」を言える地域であってほしい。そんな想いを実現するために生まれた生活支援の取り組みです。市内には「こ・こ・わ」のほかにも優しい地域づくりに向けて取り組んだり、検討したりしている団体があります。



そばに住んでいるのはどんな人?

見守り訪問活動

地域では、自治会や福祉委員会、民生委員・児童委員、老人クラブなどたくさんの団体が連携し、声掛けや見守りなどの活動をしています。この活動を通じて築いたつながりは、災害などのいざという時に大きな役割を果たします。



施策の方向Ⅳ 安全・安心な暮らしを守る環境づくり

災害時や緊急時に迅速に安否確認や支援を行うことができるよう、地域の防災訓練や見守り活動を行います。地域でのつながり作りを進めることで、いざという時に大切な命を守るにつなげます。

基本施策

- ① 災害時・緊急時対策の推進
- ② 防犯対策の推進

市内13の小学区で 5年間の活動目標を 考えました。

(令和3年度 → 令和7年度)

それぞれの地域の特性を活かし、
地域の実態にあった
地域福祉活動を進めるために、
小学区ごとにワークショップを開催し、
「地域福祉活動目標」を考えました。
この目標を達成するために、
あなたの地域の「地域パートナー」が
活動を支援します。

楠小学校区

人口：11,032人 世帯数：5,132世帯
高齢化率：32.6%

1. 人も団体もお互いさまの関係づくりを進める
2. 地域で支えあえる仕組みづくりを進める

千代田小学校区

人口：15,533人 世帯数：7,200世帯
高齢化率：27.9%

1. 子どもから大人までがつながる場を増やす
2. 助けあいの仕組みづくりを進める

地域パートナーってこんな人

地域活動を支えるために、小学校区ごとに配置されています。地域内で活動している団体同士の連携や、ささえあい活動を支援します。困ったときは、お気軽にご相談ください。
社会福祉協議会：0721-65-0133



小山田小学校区

人口：8,160人 世帯数：3,800世帯
高齢化率：35.8%

1. 人、団体、学校、企業などあらゆる主体のあたかいつながりを広げる
2. いつまでも安心して暮らせる支えあいの仕組みづくりを検討する

三日市小学校区

人口：11,347人 世帯数：4,836世帯
高齢化率：26.4%

1. 地域で子どもたちを見守る、はぐくむ仕組みを考える
2. 地域福祉活動の充実・継続を考える

石仏小学校区

人口：5,399人 世帯数：2,431世帯
高齢化率：39.6%

1. これまで継続してきた地域福祉活動の見直し・充実を図る
2. 地域で支えあえる仕組みを検討する

長野小学校区

人口：14,472人 世帯数：6,769世帯 高齢化率：30.5%

1. だれもが「居場所」と感じる地域をめざす
2. 地域福祉活動が継続できる仕組みを考える

美加の台小学校区

人口：6,966人 世帯数：2,981世帯 高齢化率：33.4%

1. 地域のあたかいつながりづくりを進める
2. 新たな活動を検討する

天野小学校区

人口：4,499人 世帯数：2,120世帯 高齢化率：47.0%

1. 今ある「つながり」を継続できる仕組みを検討する
2. 新たな取り組みを検討する

川上小学校区

人口：7,977人 世帯数：3,701世帯 高齢化率：45.2%

1. 顔の見えるふれあいの関係づくりを進める
2. 地域内で支えあえる仕組みを検討する

南花台小学校区

人口：7,203人 世帯数：3,317世帯 高齢化率：41.4%

1. 地域のあたかいつながりづくりを進める
2. 新たなツールを活用した仕組みを検討する

天見小学校区

人口：790人 世帯数：390世帯 高齢化率：52.5%

1. 地域のつながりを広げる深める
2. 地域で支えあえる仕組みづくりを進める

高向小学校区

人口：4,078人 世帯数：1,837世帯
高齢化率：41.9%

1. 地域ぐるみで支えあう地域福祉活動をめざす
2. 高齢化に対応した新たな取り組みを検討する

加賀田小学校区

人口：6,575人 世帯数：2,939世帯
高齢化率：39.2%

1. 安心して暮らせる見守りの輪を広げる
2. 新たな仕組みを検討する

※人口、世帯数、高齢化率のデータは、令和2年3月末時点のものです。

地域の目標を立てるまで

ワークショップのようす

小学校区ごとに2回ずつ開催しました。河内長野市の現状を学んだあとは6～8人のグループに分かれて、身の回りの課題や今後5年で必要なこと、できることについて話し合いました。



会場は地域の公民館や集会施設など。仕事帰りに駆けつけた人の姿もちらほら。

話し合うのは少人数のグループ単位。目標には参加者の想いが詰まっています。



話したてだが計画に反映されるってすごい
ほかの人の考えを知れてよかった



吉田妙子さん 松本拓久さん